

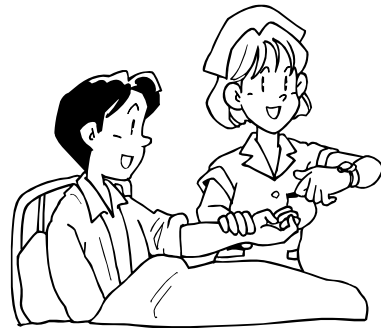
独立行政法人化で賃金切り下げ、人減らしが進行 住民の皆さんと力合わせて市民病院を守り抜きましょう！

利益追求→職員待遇切り下げへ

独立行政法人化は、利益確保が最優先されますので、支出の分野で大きな人件費を間違いなく切り下げます。「医師は賃上げした」という例もありますが、その場合には他の職種を削減し総人件費を減らしています。独立行政法人化すれば「賃金上がる」などというのは、根も葉もない幻想にすぎません。

国立病院から独立行政法人化した病院では、真っ先に賃金切り下げ、人減らしが行われました。さらには、「赤字」を強調しサービス残業の強要です。同様に、府立病院から独立法人化した大阪府立病院機構からは「大量の人員削減で安全性が低下した」「『いつ事故が起こるか分からない』『やりがいが無くなった』とベテラン医師や看護師の退職に歯止めがかからない」「業務委託・派遣などが増え、職場の統制が取れない」等の悲鳴があがっています。

それだけでなく旭中央病院は、現在でも労基署から指摘された不払い賃金を払わない、時間外手当をまともに支給しないなど、違法状態になっています。さらに、独立行政法人化で議会や市民のチェックが弱くなれば、ますます働き続けられない職場になってしまいます。こんな職場では、地域の要求に応える医療は提供できません。一人ひとりの職員の頑張りにも限界があります。「人事評価型」の賃金などやめ、一人ひとりの頑張りに応え、やりがいを持って働き続ける職場にするために、まともな賃金・労働条件を保障することの方が必要です。

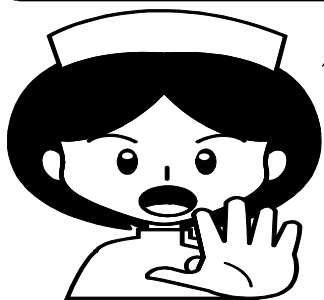


「公務員」の身分をはく奪

独立行政法人化されれば、職員は公務員（旭市の職員）の身分をはく奪されます。これまで、「給料が低い」「病院運営がおかしい」等の様々な不満があっても、旭で「市職員としての身分が保障されているから」何とか我慢してきたという職員の皆さんも多いのではないのでしょうか。

こうした職員の皆さんのかかわる重要な問題であるにも関わらず、病院の一部幹部と〇市会議員（病院囑託）は、職員にはかることも無く独立行政法人化を提案。推進しているのです。旭中央病院の問題点は経営形態ではありません。患者・家族、職員の声を受け止めて病院運営をするという姿勢に欠けていることにこそあるのではないのでしょうか。

一握りの幹部で決めず
全職員の声を聞いて下さい！



職員は、市民と力を合わせて、地域住民と毎日職場で頑張っている職員の手に取り戻しましょう！

旭中央病院を守るあさひの会

☎0479-55-2289 代表者：阿部 一成（旭市後草3230）

千葉県医療労働組合連合会・千葉医療福祉労働組合

〒262-0032 千葉市花見川区幕張町5-417-222-111

☎043-213-5071 Fax043-275-8210 chibairoren@yahoo.co.jp